

「新市将来構想・新市建設計画」ワークショップ

まちづくり懇話会

【 報告書 】

日 時：平成 16 年 5 月 25 日～6 月 15 日

主 催： 風連町・名寄市合併協議会

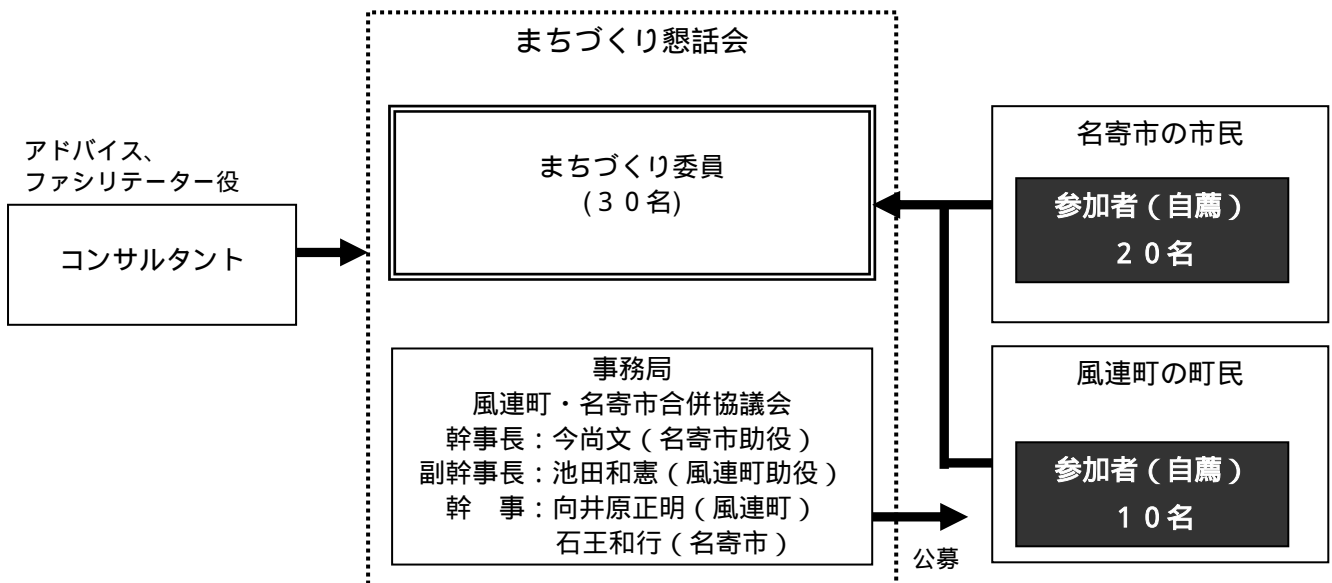
1. 実施の目的

まちづくり懇話会は、公募等により一般住民の中からまちづくり委員を選定・任命し、3回の会議(ワークショップ)の実施を通じて合併後の新しいまちづくりの方向について多様に検討し、住民の代表者による提言としてとりまとめていただくものです。

2. 全体スケジュール

	日 程	テーマ・内容
第 1 回	平成 16 年 5 月 25 日 (火) 18:00 ~ 場所：名寄市民文化センター	・オリエンテーション (概要の説明)
第 2 回	平成 16 年 6 月 4 日 (金) 12:45 ~ 18:00 場所：名寄市民文化センター発、名寄市内 風連町内、会議場所：風連町福祉センター	・タウンウォッチング (両市町の主要施設の視察) ・宝もの探し (両市町の自慢できるものの洗い出し)
第 3 回	平成 16 年 6 月 15 日 (火) 18:00 ~ 20:00 場所：名寄市民文化センター	・みんなで考える、 新しいまちの将来像 (新市将来構想に掲げる「新市の将来像」と 主要なまちづくりのアイデアをまとめる)

3. 実施体制



4 . まちづくり懇話会の成果

(1) 第1回まちづくり懇話会

内容

委員の自己紹介

幹事会及び事務局の紹介

まちづくり懇話会の活動内容及び今後の進め方について(説明)

意見交換

第1回はオリエンテーションを行いました。参加委員の自己紹介にはじまり、まちづくり懇話会の趣旨説明・作業の内容に関する説明、委員と事務局との質疑応答などです。

質疑では、「このワークショップの成果はどのように新市将来構想に活かされるのか?」などの質問が多数寄せられました。

まちづくり懇話会参加の心得(ガイドブックより)

何の心配もありません。普段のままで結構です。

難しいことはありません。日頃感じていることを「自分の言葉」で語ってみましょう。

自分の意見と異なる意見は貴重なものかも。ほかの参加者の意見は「否定」ではなく、発展させるような、+ の意見を出してみてください。

自分はモチロン! お子さんやお孫さんが、大人になって住んでいるまちを想像してみてください!

まちの個性やイメージは、まちづくりにとって、とても大切な要素です。

楽しく、和気あいあいと! でも、しっかりとまじめに。

時間には限りがあります。だから、有効に。有意義に。手と頭をフル活用して!

私たちの試みが、将来、きっと役に立つと願って。継続は力です!

(2) 第2回まちづくり懇話会

内容

タウンウォッチング(両市町の主要施設を視察しました)

	施設の名称	整備の目的 / 主な用途
1	健康の森	森林浴や散策等自然に親しみ、市民の健康づくりや体験及び学習の場として整備。さらに南側には道立広域公園とし、「北のふるさとを創る」を整備目的として事業を展開しています。 「健康の森」には陸上競技、クロスカントリー、キャンプ 14 サイト、貸農園、森林浴、散策路パークゴルフ場、遊具を備えています。 「サンピラーパーク」11 のゾーンを総合的に整備（体験・集い・憩い等）道北圏の広域公園とし活用しています。
2	炭化センター	ごみの増加、生活環境や自然環境に配慮した処理施設づくりを名寄・風連・下川・美深の1市3町の広域により行い、整備運営・生活上排出されるごみの炭化を行っています（処理能力 20t/日）。
3	保健センター	市民の健康を守り、健康づくりを推進するため、総合的な保健サービスの拠点として整備しました。各種検診や各種教室など、保健予防活動・健康づくりの指導・援助のための拠点として活用されています。
4	名寄市役所	
5	駅前広場・南6丁目	「南6丁目」は舗装、アーケード等の老朽化が進み、また、大型店の出店等の影響もあり、商業環境を活性化させるためにアーケードや融雪溝の整備を行いました。 「駅前広場」は、名寄本線、深名線の廃線に伴い代替バスの乗り入れ、歩行者の空間の確保や大通と南6丁目通の交差点処理などを図るために歩車道・照明・駐輪場・植栽・ベンチ・タクシー及びバス等のシェルター・時計塔などを整備しました。
6	北国博物館	北海道北部に位置する名寄市の自然と歴史を学習する拠点として整備し、未来への継承・発展させるテーマの展示をしているほか、自然観察会、体験学習、講習会、講座・講演会、イベントを行っています。
7	総合福祉センター	高齢者の健康保持と生きがいを求め、地域福祉の推進、ボランティア活動の拠点、総合療育施設として拠点整備。入浴によるリハビリ、心配ごと相談、ボランティア関係の情報交換・提供、ふれあい交流の場として活用。このほか、社会福祉協議会の拠点として利用されています。
8	スポーツセンター	屋内総合体育施設として整備。各種競技大会、スポーツ教室・講座を開催しています。
9	上川ライスターミナル	上川北部産もち米の産地銘柄の確立、低コスト稲作生産システムの確立、稲作経営の安定と収益性の改善を目指して整備。米穀の広域集出荷施設の利用、施設を中核として、作業の受委託、生産組織化を推進、玄米バラ集出荷、米の低温貯蔵を行っています。
10	望湖台自然公園	森と湖などの自然と親しみ、憩う体験交流の場、風連町の奥座敷として設置。野外活動、自然体験、各種交流、森林浴、各種イベントの会場として活用しています。
11	東地区体育ゾーン	健康づくり、生涯体育の振興拠点施設として整備。体育館、武道場、加温プール、テニスコート、ゲートボール、ハーフパークゴルフ場等として利用しています。
12	もみ乾燥調製施設	米等の均一な製品調製を行い、産地化を図る。敷地内に雪エネルギーを利用した出荷調整利雪施設を昨年度整備。 米・麦・大豆の乾燥調製・色彩選別や異物除去による、消費者ニーズ(安全性・均一性)に応えています。 低温貯蔵により、米の劣化を防ぎ適正保管しています。

13	廃棄物最終処分場	ごみ埋め立て最終処分を行う施設として平成年に整備。リサイクル等資源化推進を図っています。
14	農業振興センター	土壌及び堆肥分析、品種改良及び適正品種等試験等を行い、振興及び奨励作物の作付け推進など農業振興に寄与しています。
15	もち米の里風連特産館	もち米生産者有志による有限会社の設立により、もち等製造・販売を行い、「もち米」の消費拡大、産地化推進等地域振興に寄与
16	西風連コミュニティセンター	廃校となった校舎・体育館にコミュニティ施設を併設し、地域及び青少年の交流施設として活用。地域コミュニティの形成の場として活用し、青少年の交流、宿泊体験や合宿等に用いられています。
17	白樺ハイツ	高齢者に対するデイサービス、在宅支援を行うため整備。隣地に社会福祉法人運営の軽費老人ホームセンター「フロンティアハウス」がある。社会福祉協議会の拠点として、社会福祉事業を展開しています。
18	風連町役場	



身近にあって利用したことのない施設や、隣のまちの見知らぬ施設など...
 討議のきっかけとして、両市町のタウンウォッチングを開催しました。



施設や特産品、自然や、あぜ道まで。
 さまざまなものが自慢できる「宝もの」として挙げられました。さて、その活用方法は?

宝もの探し(両市町の自慢できるものの洗い出しを行い、まとめた結果を発表しました)

Aグループ：「心豊かな町」

「農業」「健康」「自然」「生活」という括りで宝物をまとめました。農業と健康の両分野にまたがる資源を宝として見出しました。

B・Cグループ：「自然いっぱい、おいしいものいっぱい、元気いっぱい!!!」

「自然」「健康」「産業」「文化」という括りで宝物をまとめました。上川ライスターミナルを地域の資源とした意見が多数出されました。

Dグループ：「北緯44度の暮らし方!!!」

「空気がきれい」「自然を利用した施設もっと有効に!!」「北国を楽しむ」「雪の有効利用」「農業をもっと元気に!」「散歩したくなるあぜ道」と自然に関わりの深いものに価値を見出しました。

Eグループ：「スノー&グリーン～風に連れられ名を寄せるまち」

「雪新エネルギー氷室」という括りでは、上川ライスターミナルの雪を資源として活用する発想に価値を見出しました。

(3) 第3回まちづくり懇話会

内容

みんなで考える、新しいまちの将来像

(新市将来構想に掲げる「新市の将来像」と主要なまちづくりのアイデアをまとめ、成果を発表しました)

ワークショップ「分野別の進行方向、重点方向、将来像」検討の方法

ポストイットカード一枚に一件の新市で実施すべき・取り組むべきと考える施策・事業を記入します。

一人一束ずつのポストイットカードを持ちます。

机の上にあらかじめ上から10センチのところまで折って印をつけた模造紙をひろげます。

模造紙の真ん中に横線を引き、その線の上下の余白を利用して、記入済みのポストイットカードをグループの全員が全部貼り付けます。

全体を見渡ししながら、同分野のものを揃えて(グルーピング)いきます。
グルーピングができたならその数だけ真ん中の線から上下に線を引き、グループにタイトルを付けます。

さらに記入済みのポストイットカードを小さな項目にグルーピングして縦の線から横の線を出し、見出しを付けながら整理していきます。

完成した全体を見渡ししながら全員で考え、協議して、上部の折った部分に新市の将来像(基本コンセプト 将来の姿を的確に表すキャッチフレーズ)を記入します。

グループごとに、完成した成果を発表します。

タウンウォッチングや宝のも探しでの議論をもとに、新市に望む施策についてアイデアを絞りました。

その後、2度目となるKJ法を使ったとりまとめと将来像づくり、そして、各班からの発表。

今後のまちづくりにつながることを確信して!!



Aグループ：「心豊かな町」

「福祉」「教育」「産業」「生活環境」「基盤」「住民」という括りで施策をまとめました。
「子どもたちの教育の場をもっとまちの人々に開放する」「まちに愛される農業。地場に消費してもらおうしくみづくり」「電柱のない住宅(別荘)エリアを本州の人に」といったアイデアが出されました。

Bグループ：「住んでよかったと思える町」

「文化」「教育」「福祉」「産業」「基盤」「生活環境」「住民・行財政」という括りで施策をまとめました。
文化ホールや図書館などの施設整備の意見が多だされた一方で、「市民による市民のためのサポートシステム」といった住民主体のまちづくりへの意見も出されました。

Cグループ：「うらやましがられる街!!」

「公園」「農業」「基盤」「福祉」「商業」「教育」という括りで施策をまとめました。
地域内通貨の創出やベンチャー特区・教員採用特区、福祉関連の計画の早期樹立など多彩なアイデアと計画的な行政運営についての施策がまとめられました。

Dグループ：「北緯44度の暮らし方!!」

「福祉」「生活環境」「産業」「観光」「行政」の大分類の下に小分類を設けて施策をまとめました。
「就職しやすいように保育所等を増やす」など福祉対策や雇用対策などのソフト面の充実を求めました。
「星空を生かした生涯学習」などのアイデアも。

Eグループ：「未来！子供！笑顔！」

「福祉」「産業」「生活基盤」「教育」「住民・行財政」の大分類の下に小分類を設けて施策をまとめました。
「街全体のバリアフリー化」や「道北文化の中心となるような文化施設」「市がバックアップしたオリンピック選手の育成」「アニメ産業などの有望企業の誘致」など様々な分野の施策がバランスよく提案されました。駐車場の広い庁舎への要望も複数だされました。

【参考】

まちづくり懇話会設置要綱

（設置）

第1条 風連町と名寄市の市町村合併問題に関し、住民からまちづくりへの意向を聴取するため、まちづくり懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

（任務）

第2条 懇話会は、風連町、名寄市における合併問題の合意形成のため、住民の立場から新市のまちづくりについて要望やアイデアを取りまとめ、新市のまちづくりの基本となる新市将来構想の策定作業にその意見を反映させることを目的とする。

（組織）

第3条 懇話会の委員は30名とし、次に掲げる者の内から風連町・名寄市合併協議会会長（以下「会長」という。）が指名した者で構成する。

- (1) 平成16年5月1日現在、名寄市に居住している者、または市内の学校・企業等に通勤通学している者20名
- (2) 平成16年5月1日現在、風連町に居住している者、または町内の学校・企業等に通勤通学している者10名

（任期）

第4条 委員の任期は、平成16年5月25日から平成16年6月30日までとする。

（会議）

第5条 懇話会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

（運営）

第6条 会議は、ワークショップ方式によるグループ討議を中心に運営するものとする。

（報酬等）

第7条 会議に出席した委員に対する報酬及び費用弁償は、支給しないものとする。

（事務局）

第8条 懇話会の事務局は、風連町・名寄市合併協議会事務局に置く。

（その他）

第9条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成16年5月15日から施行する。